

二議会だより 197

2025年8月1日発行

三芳町



高校入学前、役場の桜と一枚

撮影者
藤久保在住 小俣 あずさん



落ち葉堆肥農法を学ぶ

—公募写真—

ご応募
ありがとうございます

質疑が集中！

藤久保地域拠点施設

▶ p.2

ズバリ町政を問う(一般質問)

▶ p.8

正副議長就任メッセージ

▶ p.18

議会だより発行月

2月

5月

8月

11月

次の発行は11月1日の予定です。

藤久保地域拠点施設整備等事業の事業費増大に質疑が集中！

令和7年
第4回定例会
(6月3日～6月16日)

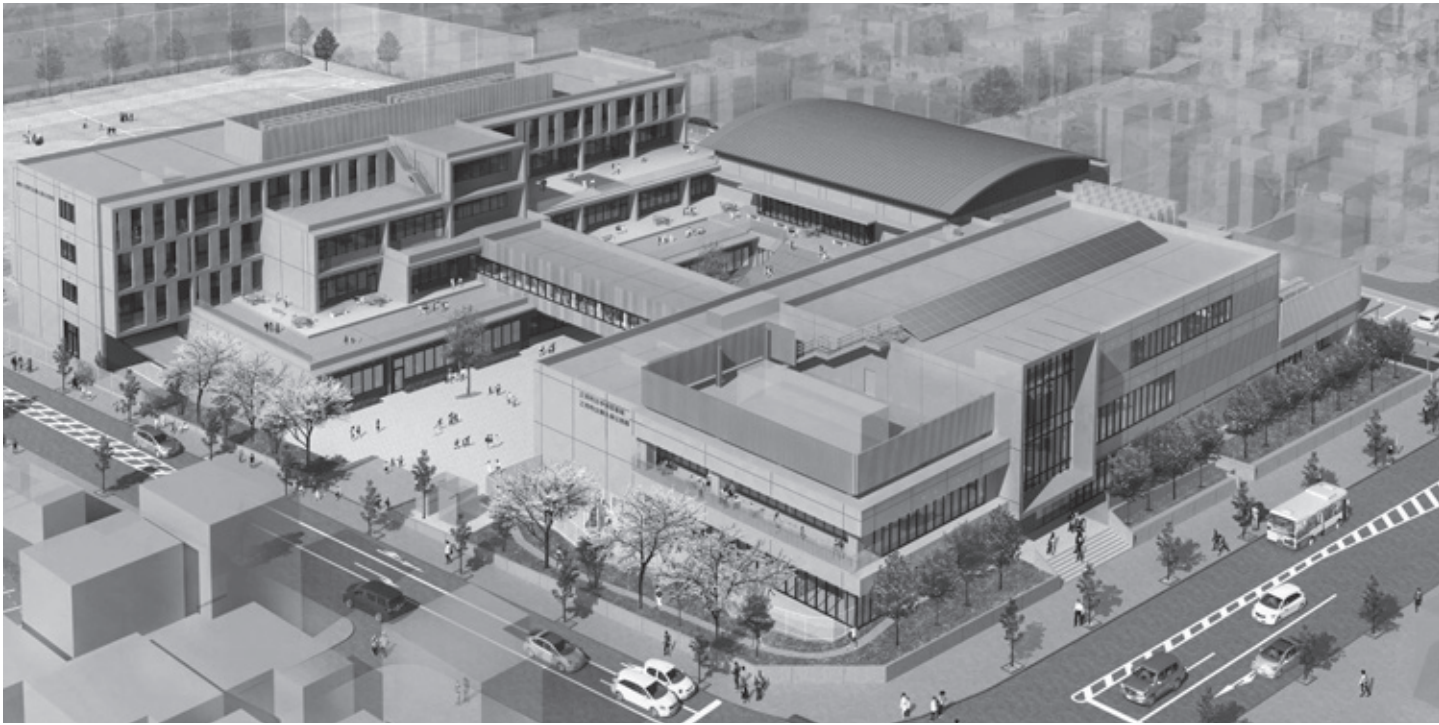
一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出にそれぞれ **2 億 544 万 4000 円** を追加し、予算総額を 187 億 8348 万円とするもの。

債務負担行為（今回の追加額）
20 億 6203 万 5000 円

事業費
合計額 **117 億 8917 万 5000 円**
に（令和 8 年度～ 28 年度まで）

※債務負担行為は、大型建設工事のように複数年度にわたる契約などに予算とは別枠で設定されます。



主な歳出

定額減税給付金

1 億 5000 万円

令和 6 年度に実施した定額減税の際、減税しきれなかった方々に給付金を支給。
・対象 5000 人と想定。



町内循環ワゴンの車両リース契約に

▲ 1643 万 9000 円

4 台分購入予定だった 2117 万 3 千円を減額し、新たにリース料 526 万 2 千円を計上。



主な質疑

問 施設整備費72億円、維持管理運営費17億円、それに資材・人件費高騰を考慮して8億円の合計97億円だったが、今回足りないとして20億円追加された。モニタリング業者はどんなアドバイスをしてくれたか。

答 事業者に対する町の監督業務への支援、国の補助の情報収集支援なども受けている。



問 今回事業者側22億円の増額要望に対し、話し合いで20億円に抑えたと思うが、今後話し合いを重ねてさらに引き下げる努力をしていくと考えてよいか。

答 1 期工事、2 期工事まで物価上昇等のリスクを見込み、ギリギリのところまでいくことになるかとして17億円と設定した。無理は通せないが、引き続き協議していく。



賛 成 論 三芳みらい

物価高騰や人件費上昇に対応した補正予算を評価。特に債務負担行為追加の 20 億 6203 万円は藤久保拠点整備の増額対応であり、物価上昇に伴う建設コスト上昇の中、この金額で収まった事は事業者と町の努力を高く評価する。子どもたちの為に施設が遅滞なく完成することを望む。

賛 成 論 日本共産党

令和 4 年 6 月定例会での一般会計補正予算債務負担行為 97 億円余に対し、資材や燃料費高騰など先行き不透明の中、この箇所の削除を求めた経緯がある。状況は更に悪化しての事業費増だが、ここまで工事が進んでいる以上、工事費を圧縮し、住民理解を得ながら進めることを求めて賛成する。

令和 7 年第 4 回定例会が 6 月 3 日から 6 月 16 日まで 14 日間の会期で開かれました。この定例会では、報告 4 件、議案 11 件が上程され全てが原案通り「可決」されました。また、請願 1 件賛成多数で採択され、意見書 2 件につきましては、賛成、反対同数により議長裁決により「否決」されました。一般質問では、13 人の議員が 4 日間にわたり多彩な視点で町政を問いました。

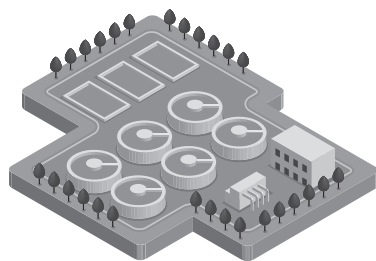
見書 2 件につきましては、賛成、反対同数により議長裁決により「否決」されました。一般質問では、13 人の議員が 4 日間にわたり多彩な視点で町政を問いました。

下水道事業会計補正予算（第1号）

収益的支出の補正

今回の補正予算額 **671 万円**
補正後の予算総額 **7 億 6988 万 5000 円**

○上下水道審議会へ持続可能な下水道事業の運営を継続するための施策を諮問したところ、下水道使用料の適正化について検討する必要があるとの意見があったとして、改定支援業務に係る業務委託料を計上したもの。値上げありきではないが経営維持するための方策を検討するとしています。



請願第1号

国に消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）廃止の意見書提出を求める請願について

趣旨説明

インボイス制度により小規模事業者の税・事務負担が増し、経営悪化が深刻化している。全国や県内でも制度の見直しや廃止を求める声が高まっており、支援策も不十分。インボイス制度の廃止を国に求める意見書を提出するよう要望する。

問 公平な納税に必要なインボイス制度だが目的の理解が不十分では。

答 消費税制度は小規模事業者にも不利で、滞納や取引中止など深刻な影響も出ている。現行制度では対応できず、廃止こそが唯一の解決策。

問 インボイス制度に伴う支援や努力が無駄にならぬように廃止には慎重さが求められるのでは。

答 多くの相談を受けた上で、民主商工会としても最終的に制度廃止が最善と判断し、今回の請願に至ったものと理解している。

本会議で審査し採決を行った結果、賛成多数で採択された。

賛成論 日本共産党

2023年10月インボイス制度導入以来、全国で廃止や見直しを国に求める意見書が次々可決され、県内27%の自治体が請願採択をしている。佐賀県議会は自民党27人をはじめ全ての議員が提出者として名を連ね請願を全会一致採択した。三芳町議会からも国に意見書を上げるときではないか。

反対論 公明党

消費税の納税義務が免除されている免税事業者が登録することで課税事業者となり、消費税の納税義務が生じる。これは国に納めるべき消費税が事業者の手元に残る益税を解消するもの。税の公平性から見ると、インボイス制度は必要であり制度を廃止することは返って混乱となることから、この請願に反対する。

土地開発公社令和6年度決算報告

土地開発公社が先行取得した土地を三芳町が取得しました。

1 億 7138 万 7397 円 町の購入額

※土地開発公社とは

公有地の拡大の推進に関する法律に基づいて公有地の取得、造成管理処分などを行うため地方公共団体が出資して設立する法人です。



主な議案・質疑

学校開放でもエアコンが！

三芳町立小中学校体育館附帯空調設備使用料条例

体育館空調設備が使用できる
(1時間 800円)

問 どのような経緯で使用料を徴収するようにしたか。
答 学校開放等の利用団体へ空調使用に関し、受益者負担が必要と説明してきた。その中で実費のガス使用料の50%を徴収させていただく。

・学校開放等する際の使用料を定めるもの



郵便局でも手続きが！

三芳町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定

マイナンバーカードの更新等ができる

・指定する郵便局 三芳郵便局、三芳北永井郵便局、三芳みよし台郵便局
・指定期間 令和8年2月1日から令和8年3月31日
ただし、委託事務の取扱いを廃止する旨の意思表示をしないときは、指定期間をさらに1年間延長することとし、以後も同様とする。



エアコン設置へ向けて！

小中学校体育館 契約の締結

・工事内容 LPGを熱源とした体育館空調設備工事「三芳小学校」「唐沢小学校」「藤久保中学校」
・工事期間 本契約確定の日から令和8年1月30日
・契約金額 小学校2校分 1億5400万円……(株)ソーセツエンジニアリング狭山支店
および契約先 中学校分 8360万円……(株)マルナカ設備工業

問 落札した事業者は、当町を含め3町同種の仕事を落札している。同じ時期に並行して工事ができるのか心配だが。

答 事後審査の段階で必要書類を添付してもらい、配置技術者がかぶっていないか等の事後審査には注意していきたい。



トイレ洋式化へ！

藤久保中学校校舎西側トイレ改修工事請負契約の締結

・工事内容 校舎西側トイレ1階から4階（男女各1ヶ所 計8ヶ所）
・工事期間 本契約確定の日から令和7年11月28日まで
・契約金額 9174万円



問 入札が2回行われているが、応札が2者しかなく不調になったことをどう認識しているか。

答 入札額が予定価格超過と最低制限価格未満ということなのでそれぞれの事業者の経費の違いなどによる結果と考える。

問 これからの入札のあり方として適正価格をしっかりと定めて、事業者へも無理強いではなく、きちんと報酬を払い適切な工事をお願いすべきでは。

答 無理強いというようなことはない。予定価格超過で随意契約できない場合は再度設計等を見直し、再度広告入札するという考えである。

議会の傍聴が便利に！

財産の取得

議会会議映像・資料及び

音声認識字幕表示等システムの購入と設置工事

1463 万円

12月定例会から三芳町議会における発言内容をリアルタイムな文字化を実現するため本会議場、傍聴席などで利用できる映像モニターや音声認識字幕システムを導入することにより傍聴者への会議の可視化と共生社会の実現を推進する。



令和7年第3回臨時会 審議結果		議員名 結果	三芳みらい		日本共産党		公明党		輝								
			池上 義典	細谷 光弘	長野 真寿美	林 善美	細田 三恵	光下 重之	増田 磨美	本名 洋	内藤 美佐子	小松 伸介	桃園 典子	久保 健二	牛丸 藍子	菊地 浩二	吉村 美津子
議案等名称																	
専決処分の承認を求めることについて (三芳町税条例の一部を改正する条例を専決処分したので承認を求められたもの)			原案承認	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて (三芳町都市計画税条例の一部を改正する条例を専決処分したので承認を求められたもの)			原案承認	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて (三芳町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を専決処分したので承認を求められたもの)			原案承認	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○

令和7年第4回定例会 審議結果		議員名 結果	三芳みらい		日本共産党	公明党	輝											
			池上義典	細谷光弘	長野真寿美	林善美	細田三恵	光下重之	増田磨美	本名洋	内藤美佐子	小松伸介	桃園典子	久保健二	吉村美津子	牛丸藍子	菊地浩二	
補正予算																		
令和7年度三芳町一般会計補正予算（第2号）			原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度三芳町下水道事業会計補正予算（第1号）			原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
条例等																		
三芳町税条例の一部を改正する条例 (税制改正に基づく地方税と地方税法等の改正する法律が公布されたことに伴い、税条例の改正を行うもの)			原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町立小中学校体育館附帯空調設備使用料条例 (上富小学校、竹間沢小学校、三芳中学校、三芳東中学校の4校の体育館を町民へ開放する際の空調設備使用料等について規定するもの)			原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について (マイナンバーカードの電子証明書の発行及び更新等の事務を取り扱う郵便局を指定するもの)			原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約・その他																		
小学校体育館空調設備設置工事請負契約の締結について (三芳小学校、唐沢小学校の体育館にガスを熱源としたエアコンの設置と付随する内装工事の契約締結に関するもの)			原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
藤久保中学校校舎西側トイレ改修工事請負契約の締結について (和式便器から洋式便器に改修するとともに湿式床から乾式床に変更する工事の契約締結に関するもの)			原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
藤久保中学校体育館空調設備設置工事請負契約の締結について			原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について (会議の可視化や発言内容のリアルタイムな文字化を実現するため、役場7階本会議場に映像モニターや音声認識字幕システムを導入するもの)			原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町道路線の廃止について (敷地の一体利用を目的とし、上富18号線、上富142号線を一旦廃止するもの)			原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町道路線の認定について (上記廃止した2路線を払下げ並びに交換した状態において認定するもの)			原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告																		
令和6年度三芳町土地開発公社事業決算の報告について			報告のみ															
令和7年度三芳町土地開発公社事業計画、予算及び資金計画の報告について			報告のみ															
令和6年度三芳町一般会計継続費繰越計算書の報告について			報告のみ															
令和6年度三芳町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について			報告のみ															
請願・要望・意見書																		
国に「消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）廃止の意見書」提出を求める請願について			採択	×	議長	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
再審法改正を求める意見書について（要請）			配布のみ															
地方消費者行政の維持強化のため国の財政支援の継続を要望する意見書の採択を求める要請書			配布のみ															
消費税率を5％に引き下げを求める意見書について			否決 (議長裁決)	×	議長	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○
ヘイトスピーチ禁止（包括的差別禁止）の埼玉県条例制定に向けての検討委員会設置等を求める意見書について			否決 (議長裁決)	×	議長	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○

令和7年第3回三芳町議会臨時会

5月9日（金）に第3回臨時会が開催されました。臨時会では、承認3件、議案1件が審議されすべてが原案通り可決されました。

令和7年度一般会計 補正予算

予算の総額に3323万2000円を追加し、予算総額を185億7803万6000円とするもの。

- ・ 現行の公共施設予約システムを改善し、オンライン決済等も行えるシステムを導入します。住民の来庁負担の軽減を図ります。
- ・ マイナンバーカード利活用のためのデジタル化推進事業

1199万2000円

国の交付金を1/2活用



三芳町税条例の一部を改正します。 (軽自動車税率の新区分)

* 令和7年11月から排ガス規制により50cc以下の原動機付自転車の生産・販売が無くなることから新たな税区分が創設されました。

総排気量125cc以下、かつ最高出力が4.0kw以下 税率年額 2000円



三芳町国民健康保険税条例の一部を改正します。 (国保税の軽減拡大)

* 国民健康保険税の軽減対象となる所得の算定基準が変わります。

5割軽減は 29.5万円⇒30.5万円に

2割軽減は 54.5万円⇒56万円に

いずれも引き上げられました。



公明党
内藤美佐子
ないとう み さ こ

災害時の情報伝達を防災ラジオで



- 問** 大地震等の有事の時、町民への情報伝達方法は。
- 答 自治安心課** 行政無線や電話応答等にて連絡する。
- 問** 本庁のデジタル行政無線を個人宅内の防災ラジオと連携できるか。
- 答 自治安心課** 今のシステムでは連携は難しい。
- 問** 能登半島地震では多くの伝達方法のうち、直ぐに復旧したのがFMラジオ放送だ。本町もFM電波の防災ラジオを導入してはどうか。
- 答 町長** 令和8年供用開始の藤久保拠点施設にコミュニティFMが入居予定。災害防災情報発信に合わせ、防災ラジオも検討する。
- 災害時のトイレ充実**
- 問** 災害時避難所のトイレ不足に対応するため自走式仮設水洗トイレ（トイレカー）の導入はどうか。
- 答 町長** 平常時の活用とラニンングコストが課題だ。必要性は分るので検討する。
- 疾病予防の充実**
- 問** 带状疱疹ワクチン接種補助を50歳代まで広げては。



群馬県みどり市が導入したトイレトラック

輝
吉村美津子
よしむら み つ こ

就任後の林伊佐雄町政の政策は



- 問** 三芳スマートICへの大型車導入に反対を表明してきたが、林伊佐雄町長のもとで11億7000万円もの税金を使って完成した。この費用で学校給食費や修学旅行費の無償化が実現できたのではないか。
- 答 町長** 企業誘致等で固定資産税は増えた。財源の中で優先順位を決めている。
- 国際交流の税金支出は止めるべきだ**
- 問** このまま国際交流事業を続けると税金投入は1億円を超える。中止して、生活支援策を講じるべきだ。補聴器購入補助や熱中症対策の低所得者へのエアコン購入・設置補助、電気料金への補助を実施すべきでは。
- 答 町長** 福祉施策も大事ではあるが、国際交流事業も意義があるので続ける。
- （仮称）地域活性化発信交流拠点は止めるべき**
- 問** 事業計画の税金支出は30億円から50億円の試算となっている。パブリックコメントでは、多くの方はこの「道の



税金の支出は暮らしに!!

議員の持ち時間は60分以内です。紙面の都合上、ほんの一部の掲載となります。QRコードからYouTubeで動画をご覧いただけます。

ズバリ！町政を問う

- 桃園典子議員**
高齢者の孤独死を防ぐために P.8
- 内藤美佐子議員**
災害時の情報伝達を防災ラジオで P.9
- 吉村美津子議員**
就任後の林伊佐雄町政の政策は P.9
- 菊地浩二議員**
孤独死・孤立死を防ぐ P.10
- 牛丸藍子議員**
高齢化が進む自治を多世代化へ P.10
- 細田三恵議員**
障がい者福祉施設での虐待 考察 P.11
- 久保健二議員**
町、町長は脇役。町民主役な町。 P.11
- 林 善美議員**
国道254号の安全対策について P.12
- 小松伸介議員**
物価高から町民生活守る支援策を P.12
- 光下重之議員**
循環ワゴンの無料お試し期間を！ P.13
- 長野真寿美議員**
発達性ディスレクシア教育支援 P.13
- 本名 洋議員**
三芳スマートICの交通安全は P.14
- 増田磨美議員**
今 町に本当に必要なものは何か P.14



高齢者の孤独死を防ぐために

公明党
桃園典子
もも そののり こ

- 問** 高齢者独居世帯の推移は。
- 答 福祉課** 令和4年2778世帯、5年2824世帯、6年2909世帯。
- 問** 民生委員のなり手不足解消のための、民生委員協力員制度を導入する予定は。
- 答 福祉課** 現時点での導入予定はない。
- 問** 有事の際に見守り者が通報する際の基準となるガイドラインを策定しては。
- 答 福祉課** 今後の課題を整理し検討していきたい。
- 問** 民間事業者との協定先を拡充し要支援世帯の早期発見と支援を可能にしては。
- 答 福祉課** 協定の拡充を念頭に検討していきたい。
- 問** 孤独死を防ぐため重層的支援の仕組みが必要では。
- 答 町長** 大変重要な課題である。重層的な支援体制に向けて検討していきたい。
- 5歳児健診を軸とした支援体制について**
- 問** 就学前に実施する5歳児健診は重要だが、受けられなかった方への対応は。
- 答 こども支援課** 保健師が個別に状況確認し、関係機関と連携し対応していく。
- 問** 親がこどもの関わり方のスキルを学べばアレントトレーニングを実施しては。
- 答 こども支援課** 保護者支援として重要と考える。調査研究を進めていきたい。
- 朝の小一の壁に対する環境整備について**
- 問** 県で「朝のこどもの居場所づくりモデル事業」がスタートしたが町もニーズ増加に備え実施検討しては。
- 答 教育長** 学校の実情や保護者のニーズ等に注視しながら研究検討していく。
- 問** 児童保育の利用時間延長と併せて朝の居場所づくりも必要と考えるがどうか。
- 答 町長** 今後、効果的で持続可能な支援体制の構築に向けて検討していく。
- 高齢者の孤独死を防ぐ更なる施策**



三芳みらい
細田 三恵
ほそだ みつえ

障がい者福祉施設での虐待 考察



問 非認知能力で特に重視されている「みよしの力」の定義・位置づけは。

答 教育センター 非認知能力は文科省が重視。本町では「みんなで繋がる力・よりよく生きようとする力・真剣に自分と向き合う力」の頭文字をとり『みよしの力』として

MOVEプランについて

問 障がい者福祉施設で過去3年間の虐待通報件数は。

答 福祉課 令和6年度のみ1件。

問 匿名で安心して通報できる仕組みは整っているか。

答 福祉課 匿名でも、また実名であっても、通報者が特定されないように細心の注意を払っている。

問 通報を受けた時の調査や対応の手順は。

答 福祉課 国の手引きに基づき町のマニュアルを作成。通報を受けると福祉課で会議を開き、情報収集と訪問調査を実施。緊急時は保護措置を準備、緊急性がなければ口頭指導や改善計画書を求め、最終的に県へ報告する。

問 世界と繋がる国際感覚を育む国際交流での地方自治体の地域連携は、住民の安全保障や（台湾を含む）国際情勢への理解促進につながると考えるがどうか。

答 秘書広報室 今後も国際交流を進め、子どもから大人まで理解を広げていきたい。



問 三芳町内にあるスケートボードパークを整備してほしいと東京オリンピックの正式種目になったことと町内にスケートボードをほしいと言いつける場所がなかったことから4年前の2021年3月に提案し、その後愛好会の立上げ、ようやく令和7年4月20日にオープンすることが出来、提案当初はパーク建設に対し消極的だった町だが整備が完了した今の町の見解は。

答 施設マネジメント課 完成まで時間は要したが、改めて整備をしてよかったと感じている。

問 愛好会なくして建設整備はなかったと感じている。ルール決めを含め意見等聞いていただきたかったがどのように捉えているか。

答 施設マネジメント課 愛好会の方たちはもちろんだが、愛好会の方だけに限らずあらゆる世代の方たちに利用していただきたい。

問 「三芳夢パーク」という名称は誰が決めたのか。

答 施設マネジメント課 町長のほうから子供たちの夢を



4年間の粘り強い思いが通じオープンしたスケボーパーク

問 町内児童生徒に名前を募集し子供たちに名称を考え、愛着を持ってもらうといった取り組みは出来ないか。

答 町長 教育大綱の中で夢がテーマになっていて、夢パークとしたが改めて子供たちに意見を聞き名称をつけてもいいと思っている。

問 道の駅施設だが建設費に45億から50億、用地購入費を入れるとそれ以上の事業になるわけだが、120億からの事業を抱えながらそれだけの予算を費やす事業を進めて大丈夫なのか。

答 町長 このような施設の整備は見送るべきといった意見は理解できる。意見を汲みながら考えたい。

定例会で議員が行政や政策に関する質問をし、提案をする場です。地域の課題に対処し、住民の声を反映させるための大切な場所です。



孤独死・孤立死を防ぐ

菊地 浩二
きくち こうじ

問 三芳町の発生状況は。

答 福祉課 把握していない。

問 孤独死は高齢者に限ったことではない。町の認識は。

答 福祉課 若くして孤独死で亡くなった方も様々な要因があり、社会的な孤立、経済的な困窮、精神的なストレス、人との関わりが少ないといったようなことも原因ではと考えている。

問 孤立死の実態把握は。

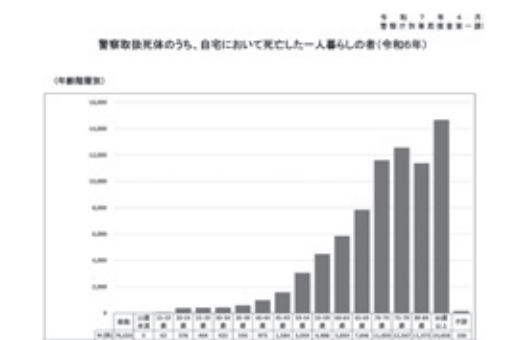
答 福祉課 内閣府でも実態把握の検討が進められている。町としては国の動向を注視したい。

問 孤独死を防ぐため、町はこれまでどのような取り組みをしてきたか。

答 福祉課 緊急時連絡システム事業、配食サービス事業、紙オムツ支給事業、ふれあい収集事業などが挙げられる。また、民間企業との協定を行っており、事業を委託しているところ以外では3者と見守りの協定を締結している。

問 引きこもりと孤独死の関係性をどのように認識しているか。

答 福祉課 引きこもりは様々な要因の結果として社会的



年齢階層別グラフ（出典：警察庁ウェブサイト）

的参加を回避し、相当期間、概ね家庭にとどまり続けている状態を指すが、引きこもりから孤独死に至るケースもあると考える。

問 孤独死の心配などなく三芳町で暮らしていくために、三芳町は今後どのような取り組みを行うか。

答 福祉課 孤独・孤立対策推進法では支援を必要とする方を早期に把握支援に繋げるために関係機関で構成する協議会の設置や重点計画に置いて回りの人に関心を持ち、サポートする繋がりがサポートの養成が求められている。これらを調査研究し、またICT技術などの活用も含めて検討していきたい。



高齢化が進む自治を多世代化へ

牛丸 藍子
うしまる あいこ

問 学校生活において自治の見識を高める取り組みは。

答 学校教育課 探究的学習で自治に対する提案や意見を求める活動、公民で自治の仕組みや税金の使途について学習している。

問 主体性を育む取り組みは。

答 学校教育課 学校生活の諸問題を自分事として捉え、解決方法について議論し実行する活動を行っている。今年度は全校代表児童生徒を集め活動内容や経緯を発表するハッピースクールプロジェクトを実施予定。

問 サポートが必要な児童生徒の意見の拾い上げは。

答 学校教育課 個別の支援計画・指導計画を活用し、保護者と相談しながらより良く成長できる視点で行う。

問 既存のルールを変えるプロセスの実践は。

答 学校教育課 各校に校則の見直しガイドラインを周知している。生徒の意見を取り入れて校則を変更した学校もある。

問 児童生徒が学校外で実践している自治活動は。

答 学校教育課 地域防災避



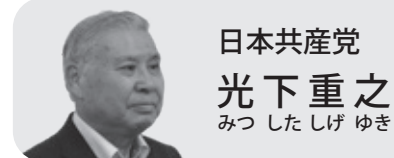
難訓練への参加、ジュニアボランティアリーダー等がある。

問 児童生徒が行政連絡区等で役割をもって活動する事について町の認識は。

答 教育長 主権者教育や社会参画の観点からも意義深く、次世代の人材育成に繋がるものと期待する。

問 少子高齢化と人口減少により地域コミュニティが小規模化する中でも多世代化の活路が拓けると考えるが支援に対する町の考えは。

答 町長 補助金の活用により多世代が参加できる事業が行われた成功事例もある。多世代が出会い、連携し発展していく事が活性化と考える。オンラインの事業も可能になるようデジタル環境整備にも注力する。



日本共産党
光下重之
みつしたしげ ゆき

循環ワゴンの無料お試し期間を！



問 10月からの町内循環ワゴンの試行運転にあたり、1か月間ほど3コース全てで自由に乘ってもらって「無料お試し期間」を設定し宣伝するのはどうか。

答 政策推進室 利用料金や精算方法などについて意見をもらうのが目的であり無料は考えていない。

「公」と「私」の狭間の問題をどう解決する

問 廃棄物の民有地への不法投棄問題や民有地から公道への土砂流出の問題など「公」と「私」の問題解決のために、町の「空家等の適正管理に関する条例」が参考になる。第八条（特定空家等の認定）で「町民の生命、身体又は財産に被害を及ぼす恐れがあると認められるときは、これを回避するために必要な最低限度の措置（緊急安全措置）を講ずることができ」とし、「あらかじめ協議会の意見を聞くことができる」とある。「管理不全な状態とは、保安上危険となるおそれ、著しく景観を損なっている状態、その他周辺の生活環境の保全を



町道幹線 1号線の状況

住居表示問題

問 約30年たってもこの課題が進まない。どう思うか。

答 町長 学校区、行政連絡区再編で住民から今は必要ないとの答えがあり、また、市街化区域全体で約3億6千万円かかること、住民・事業所の負担があること等がある。今後も住民との合意形成を図りたい。

答 町長 不法投棄の問題などで地権者に寄りそう制度をつくったが機能しない悩みがつづいた。提案を聞いてうなづける部分がある。調査し努力していきたい。



三芳みらい
長野真寿美
ながの ます み

発達性ディスレクシア教育支援



問 発達性ディスレクシアのある児童生徒の把握は。

答 教育センター 診断を受けている児童生徒は中学校1名・小学校1名だ。読み書きが困難・支援を受けている児童生徒数は、中学校では11名・小学校では5名となっている。児童の特性を理解し個別のニーズに応じた支援を行うことが課題である。

問 教職員への研修や啓発活動はどの程度実施し、その効果は。

答 教育センター 各小中学校で教育委員会や校内研修において児童情報共有を含めた研修を行っている。また、特別支援教育コーディネーター研修や特別支援担当者研修等も実施している。

問 就学前健診や小学校入学時における発達性ディスレクシアの可能性のあるスクリーニング検査等の導入についての考えは。

答 教育センター 早期支援が大切であるが、本格的に文字を習得する前にスクリーニング検査の実施は現時点では難しいと考える。



消防団OBの活動と安心を確保する為の支援を

問 本町消防団における人員不足の現状と、課題解決における消防団OBの役割について町の認識は。

答 自治安心課 入間東部事務組合消防団条例において定数が定められているが定数に達していない。全国的に人員不足であることは認識している。通常の消防団が終了し機能別団員として、消防団員を継続してもらっている団員もいる。

役場職員においても平成30年に県内初となる三芳町機能別消防団を発足。14名の内現在も8名の職員が機能別消防団員として任命されている。

定例会で議員が行政や政策に関する質問をし、提案をする場です。地域の課題に対処し、住民の声を反映させるための大切な場所です。



国道254号の安全対策について

三芳みらい
林 善美
はやし よし み



問 国道254号植樹帯の雑草繁茂対策は。

答 道路交通課 町内パトロールや通報を受けて対処を依頼している。県土整備事務所が月2回パトロールと年2回除草している。

問 植樹帯を横切る横断歩道についての見解は。

答 道路交通課 ドライバーから繁茂の改善要望はある。見通しの悪さが事故につながる可能性はある。

問 国道254号の特徴がバイクすり抜けによる事故につながると考えるか。

答 自治安心課 片側1車線で道路幅員があるため追い抜きが容易となり、事故は起きやすい状況にある。

問 運転者と通行者が危険性を共通認識するため（仮称）国道254号におけるバイクすり抜け禁止条例」を制定しては。

答 自治安心課 道路交通法ではすり抜けの定義がなく、町の管理外の道路であるため規制は難しいが、関係機関と連携して啓発活動を実施していく。



プレコンセプションケアの正しい理解を

プレコンセプションケアについて

問 こども家庭庁「プレコンセプションケア推進5か年計画」における概念の理解と認知度の向上は。

答 こども支援課 性や健康・妊娠に関する正しい知識を広げるため、埼玉県動向を踏まえ検討していく。

問 妊娠前の健康管理として取り組んでいる事業は。

答 こども支援課 保健師が対応。不妊検査費、不育症検査費助成、感染症等の情報提供、健康マイスター事業等を行っている。

問 プレコンの取り組みは町に必要と考えるか。

答 こども支援課 ウェルビーイングを進める上で重要。どのように取り組むべきか調査研究していく。



物価高から町民生活守る支援策を

公明党
小松伸介
こまつ しん すけ



問 物価高が与える影響は。

答 政策推進室 住民生活に影響が生じていると認識。

問 実施してきた支援策は。

答 政策推進室 給付金支給、学校給食支援、子供食堂支援等を実施してきた。

問 それら施策の効果は。

答 政策推進室 物価高に直面する皆様の経済的負担減や生活の基盤確保に寄与。

問 町独自の支援策実施は。

答 政策推進室 財政状況から国の支援が必要。国の対策に合わせ支援策を進める。

問 東京都が行う水道基本料金無償化と同じ施策を町で実施した場合の支出額は。

答 上下水道課 約3400万円となる。

問 水道基本料金無償化を。

答 町長 交付金活用でどこまで住民の皆様に寄り添った支援が可能か考えたい。

問 高校生へ通学費補助は。

答 学校教育課 国や県に対し、就学支援制度の拡充の要望を伝えていきたい。

問 家計に影響大の米価高騰に対し、お米購入支援は一番町民に寄り添った支援。他市で行っているお米ギフト券支



他市で行われているお米券支給事業

給を当町も行っては。

答 政策推進室 支給の予定はないが今後動向を注視。

平和事業について

問 学校での平和学習は。

答 学校教育課 学校の実情に応じて埼玉県平和資料館による出前事業等を実施。戦時の実物に触れる機会も。

問 中学生平和記念式典派遣事業後、意識共有化は。

答 総務課 町民全体の報告会は困難。広報等で周知。

問 原爆被害等を疑似体験出来るVRゴーグルの検討は。

答 総務課 平和学習に有効な手段と考え検討したい。

問 広島市の平和教育プログラム等を参考にしたい。

答 教育長 研究を進める。

その他の質問

中学校部活動について

ご回答ありがとうございます！
ございます！

議会だより

de

住民参加

議会だよりアンケート

前号 196 号で募集した web アンケートの結果を公開します！

議会だよりは
読みやすいで
すか？

- ・読みやすい
- ・少し読みにくい

議会だよりで
関心のある項
目は？

- ・一般質問
- ・議員の賛否
- ・表紙
- ・委員会報告

議会だよりの
印象は？

- ・読みやすい
- ・難しい
- ・役に立つ

今後読んでみ
たいと思われ
るために必要
と思う事は？

記事の内容を誰
もが理解でき
るようにする。



藤久保 60代

町民の声や活動を
もっと載せてはどうか。

用語説明がわかりやす
かったです。
若い世代にも読んでもら
えるように活字よりイラ
スト等を導入し目にとま
るようにしてほしいです。



藤久保 30代



北永井 70代

高齢者にとってもう少し
読んでみたいと思う、
わかりやすい
大きい字と内容でお願い
します。



お聞かせください あなたの声

議会だよりについての感想や
「こんな誌面にしてほしい」など
ご意見をお寄せください。
今後の誌面作りの参考にさせていただきます。

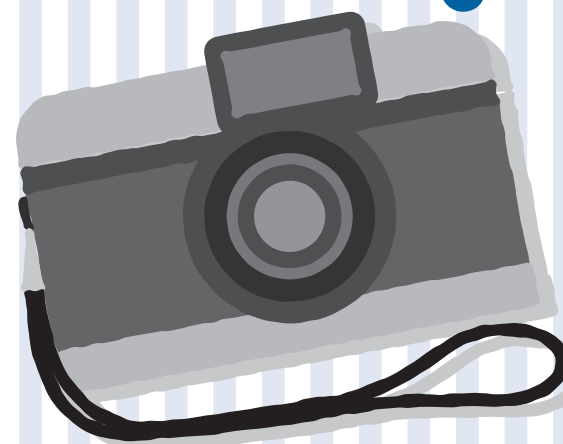


令和7年
8月31日
締切

／キラリと光る とっておきの一枚を！／

表紙写真募集

次はあなたの
写真かも！？



- ・氏名
- ・住所
- ・連絡先
- ・コメントを添えて



二次元コードからご応募ください。
(皆さんに写真の掲載許可を頂いてください。)

採用された写真は応募者（撮影者）の氏名及
び在住等を掲載します。
応募多数の場合は選考となります。

お問い合わせは議会事務局まで
gikai@town.saitama-miyoshi.lg.jp

令和7年8月31日締切



素敵な写真をご応募頂き
ありがとうございます！
今後ともご家族・ご友人
ペットと一緒になどの
楽しい写真を
お待ちしております！

政務活動費

確認をお願いします

私たちは
このように
使いました



議員全員の使途状況を HP に公開しています。

この QR コードか『三芳町議会 政務活動費』で検索してください。

各議員の収支報告書がご覧いただけます。

議員名					
町交付額	¥60,000	¥60,000	¥60,000	¥60,000	¥60,000
支出額	¥60,460	¥53,937	¥108,681	¥54,300	¥11,288
町返還額	¥0	¥6,063	¥0	¥5,700	¥48,712

議員名					
町交付額	¥60,000	¥60,000	¥60,000	¥60,000	¥60,000
支出額	¥24,319	¥62,378	¥48,333	¥60,258	¥64,630
町返還額	¥35,681	¥0	¥11,667	¥0	¥0

議員名					
町交付額	¥60,000	¥60,000	¥60,000	¥60,000	¥60,000
支出額	¥64,235	¥53,937	¥85,749	¥53,580	¥47,358
町返還額	¥0	¥6,063	¥0	¥6,420	¥12,642

政務活動費は議員が三芳町政の課題を把握し、住民福祉の増進に反映させるために必要な活動を行うための経費で、年間 6 万円交付されます。

まちの未来へ 今 前進!!

正副議長 就任メッセージ



議長
細谷 光弘

このたび、5月9日付で三芳町議会議長・副議長に就任いたしました。

日頃より、町政および議会活動に対しまして、町民の皆様の温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちは、公正で円滑な議会運営に努め、「町政のチェック」と「政策提言」の役割をしっかりと果たしてまいります。町民の皆様の声を大切にし、開かれた議会の実現をめざします。

変化の著しい社会の中にあっても、誰もが安心して暮らし続けられる三芳町をめざし、議員一同がその力を存分に発揮できるよう、私たちも全力を尽くしてまいります。

今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



副議長
桃園 典子

総務常任委員会



前列右から
久保 健二(委員長)
増田 磨美(副委員長)
後列右から
林 善美
桃園 典子
牛丸 藍子
池上 義典
光下 重之

厚生文教常任委員会



前列右から
長野真寿美(委員長)
内藤美佐子(副委員長)
後列右から
菊地 浩二
本名 洋
小松 伸介
細田 三恵
吉村美津子

議会広報広聴常任委員会



前列右から
菊地 浩二(委員長)
池上 義典(副委員長)
後列右から
桃園 典子
増田 磨美
牛丸 藍子
吉村美津子
細田 三恵
光下 重之

議会運営委員会



前列右から
林 善美(委員長)
小松 伸介(副委員長)
後列右から
久保 健二
内藤美佐子
本名 洋
長野真寿美

開催

令和7年度ふれあい座談会（議会報告会）

みなさんの声を
聴かせてください

藤久保公民館

11月8日(土)

午前 9時30分
午後 11時00分

中央公民館

11月7日(金)

午後 4時30分
午後 6時00分

竹間沢公民館

11月7日(金)

午前 9時30分
午前 11時00分



議会の動画を
配信しています。



議会の動画をインターネット動画配信サイト
YouTube 上でご覧になることができます。
本号の記事中にある動画のQRコードを読み
込むか、右記 QR コードにアクセスしてくだ
さい。



三芳町議会
中継ページ

次の議会定例会は

8月28日(木)

開会の予定です



お気軽に傍聴へ
お越しください

声の議会
だより

朗読ボランティア
「けやき」の皆さん
が朗読したものを
三芳町議会ウェブ
サイトで聴くことが
できます。



編集後記

皆さんとともに

いつも議会だよりを
お読みいただきありが
とうございます。そして、編集後
記にまで目を通していただき、本
当に感謝でいっぱいです！

今号は、読みやすい、わかりや
すい「議会だより」でした。し
うか。皆さんのご意見・ご感想は、
アンケートからぜひお寄せくだ
さい。今後の誌面作りの大切なヒ
ントになりますし、私たち編集委員
の大きな励みにもなります。どう
ぞよろしくお願いいたします。

さて、三芳町議会議員の任期も
あつという間に折り返しを過ぎ、
残すところ2年の後半戦となりま
した。この議会だよりを通して、
議会の活動をこれまで以上にし
かりと、そして分かりやすくお届
けできるよう、引き続き力を尽
してまいります。

(議会広報広聴常任委員長 菊地)

議会広報広聴常任委員会

委員長 菊地 浩二
副委員長 池上 義典
委員 吉村 美津子
委員 光田 三重子
委員 細田 三子
委員 桃井 藍子
委員 牛丸 磨美子
委員 増田 美子